

調査が終わると次はマップづくりです。ここでも地域防犯サポーターが活躍します。最初はどこから手を付けて良いかわからず、少し戸惑っていた子どもたち。そこでサポーターの一

いよいよマップづくり

子どもは地域で守る



サポーターと一緒にマップづくり



シニア記者が取材しました！

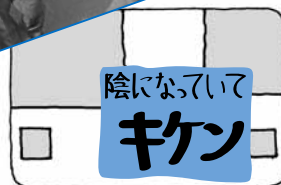
頼れる！ 地域防犯サポーター

人が「じゃあまず、記録した場所がどうして危険だと思ったのか確認してみようよ」と一言。それをきっかけに、子どもたちが少しずつ話し合いを始めました。多かったのは「建物の陰にあり、夜になると危険」や「木が生い茂っていて隠れやすい」といった意見。みんなの考えがまとまると地

あるサポーターに、この取り組みに参加した理由を聞いてみました。すると「子どもは地域の宝物。地域で守っていくことが大切です。そのために、少しでも力になりたいと思いました」との答えが返ってきました。皆さんに共通しているのは、地域での安全への取り組みが必要だと考えて

一番大切なことは

図へ書き込みを開始。どんどんマップができていきます。



今回ご紹介した「地域安全マップづくり」は、さまざまな地域で行われています。あなたもこの活動に参加してみませんか。

詳細

北区総務企画課地域安全担当係
☎北区役所内線 214

いること。「防犯の意識は重要なことが分かりました」という子どもたちの声からも、この取り組みの意義を実感します。地域単位での防犯意識の重要性が地域安全マップを通して見えました。



子どもたちは「危険」を見付けるのが上手。こうした活動が、自ら身を守ることでできる子どもを育てることにつながると思います。教えられることが多い取材でした。



なかさきのり 高崎俊紀 記者

子どもたちに寄り添って作業するサポーターの熱意に感銘を受けました。こうした取り組みが広がり、子どもの安全な通学などに寄与することを願いながら取材を終えました。



あべたかし 阿部威 記者

編集後記